

平成 29 年度 仙台市 水防協議会

議 事 録

I 開催日時：平成 29 年 6 月 9 日（金）15 時 00 分から 15 時 52 分

II 開催場所：TKP ガーデンシティ仙台勾当台 ホール 3

III 出席者：会長 1 名・副会長 2 名・委員（代理含む）13 名 計 16 名

役 職	職 名	氏 名	備 考
会 長	仙台市長	奥山恵美子	
副会長	仙台市副市長	藤本 章	
〃	〃 危機管理監	佐々木英夫	
委 員	仙台市議会議員	斎藤 範夫	
〃	〃	佐藤 正昭	
〃	仙台管区気象台気象防災部長	藤田 司	代理 小池 二郎
〃	東北運輸局総務部長	谷藤 耕浩	代理 庄司 誠
〃	東日本電信電話株式会社宮城事業部設備部長	武田 義文	代理 渡邊 健一
〃	東北地方整備局仙台河川国道事務所長	松居 茂久	代理 白戸 孝
〃	〃 釜房ダム管理所長	山尾 昭	
〃	宮城県仙台土木事務所長	後藤 隆一	代理 齋藤 和城
〃	〃 仙台地方ダム総合事務所長	加藤 鎌之	
〃	宮城県警察仙台市警察部長	高橋 俊章	代理 千葉 良朗
〃	公益財団法人宮城県消防協会仙台地区支部長	八島 信夫	
〃	仙台市婦人防火クラブ連絡協議会会長	八木 彌生	
〃	仙台市消防局長	中塚 正志	

IV 傍聴者：なし

V 議事次第

1. 開 会

2. あいさつ 市 長

3. 議長選出

4. 議 事

平成 29 年度 仙台市水防計画（案）について

5. 報告事項

① 平成 29 年度 河川巡視結果について

② 平成 28 年度中の河川復旧状況及び平成 29 年度の河川復旧計画について

③ 東北地方の長期予報について

6. その他

想定最大規模降雨を踏まえた平成 30 年度以降の対応について

7. 閉 会

VI 配付資料

・資料 1-1 平成 28 年度 主な災害対応状況

・資料 1-2 平成 29 年度 仙台市水防計画（案）について

・資料 1-3 平成 29 年度 仙台市水防計画（案）

・資料 2 平成 29 年度 河川巡視結果

・資料 3 平成 28 年度中の河川復旧状況及び平成 29 年度の河川復旧計画

・資料 4 東北地方の長期予報

・資料 5 想定最大規模降雨を踏まえた平成 30 年度以降の対応について

(当日参考配布)

・気象庁パンフレット「気象警報・注意報をより見やすく！より分かりやすく！」

・同上「大雨警報・洪水警報の危険度分布」

Ⅶ 会議経過

1. 開 会

- 委員定数 16 名中 16 名の出席により、仙台市水防協議会条例（以下「条例」という。）第八条第一項に基づき会議が成立した。

2. あいさつ 奥山市長

3. 議長選出

- 条例第七条の規定に基づき水防協議会会長の奥山市長が議長とされた。
- 議事録署名委員として、仙台市議会議員 佐藤 正昭委員及び仙台市婦人防火クラブ連絡協議会会長 八木 彌生委員を指名した。

4. 議事

(1) 審議事項 平成 29 年度 仙台市水防計画（案）について

- ・資料 1-1 に基づき、事務局（仙台市危機管理室危機管理課長）から説明
- ・資料 1-2、資料 1-3 に基づき、事務局（仙台市危機管理室防災計画課長）から説明

【議長】

平成 29 年度仙台市水防計画は原案のとおり承認することとしてよろしいか伺う。

【委員一同】

異議なし。

【議長】

原案のとおり承認とする。

5. 報告事項

① 平成 29 年度 河川巡視結果について

- ・資料 2 に基づき、仙台市消防局警防課長から説明

② 平成 28 年度中の河川復旧状況及び平成 29 年度の河川復旧計画について

- ・資料 3 に基づき、仙台河川国道事務所長代理 白戸副所長から説明
- ・資料 3 に基づき、宮城県仙台土木事務所長 後藤事務所長から説明
- ・資料 3 に基づき、仙台市建設局百年の杜推進部河川課長から説明

③ 東北地方の長期予報について

- ・資料 4 に基づき、仙台管区気象台 戸堀水害対策気象官から説明

【仙台市議会議員 斎藤委員】

先ほどの議事にも関連するが、七北田川について、昨年の対応状況を見ると、豪雨による避難勧告等の発令が以前より多くなっている。それだけ豪雨が多かったということもあると思うが、報告事項の説明にあったように、上流部の小角に水位計を設置して水位を観測しやすくしたことも原因である。

これは、平成27年の関東・東北豪雨を受けて対策したものであるが、対策がなされることによって、これまで避難勧告等の発令がされていなかった状況においても、発令がされるようになったという面もあると考えている。

宮城県仙台土木事務所からの説明において、河川の復旧状況の説明があった。確かに東日本大震災による被害、平成27年の関東・東北豪雨の被害、この復旧をするのは当然であるが、七北田川における構造的な問題として、河川改修が遅れているということがあると考えている。特に、七北田川の赤生津大橋から上流においては改修が行われていない。改修が行われない状態では、水防計画や観測体制を直しても根本的解決には至らない。その点について、今後の見通しをお伺いしたい。

【宮城県仙台土木事務所長】

御指摘のあった七北田川上流部については、七北田川全体の河川整備計画を策定しており、計画に基づいて今後、整備方式を定めることとしている。具体的な作業については宮城県庁が中心になってやっているが、今年度は上流部の測量や河川計画の設計を行っており、そういった計画がまとまり次第、地元の皆様には御説明する機会を持ちたい。

【仙台市議会議員 斎藤委員】

七北田川上流の河川改修は進めるのか、進めないのか。仙台土木事務所としては答えにくい部分があるかもしれないが、行政の不作为によって県民・市民の財政、生命が危険にさらされることは憂慮すべきである。行政の施策が必要なことは明白なので、本協会の意見を宮城県庁に伝えてしっかり取り組んでもらいたい。

【宮城県仙台土木事務所長】

ご意見を伝える。

6. その他

(1) 想定最大規模を踏まえた平成30年度以降の対応について

・資料5に基づき、事務局（仙台市危機管理室防災計画課長）から説明

【仙台管区气象台 戸堀水害対策気象官】

気象庁では、新たな取り組みとして、大雨・洪水の危険度分布の公開を7月から目指

している。参考配布したパンフレットは、こういった情報をどのタイミングでどのように利用していくかということの説明するものなので、持ち帰って参照いただきたい。

【議長】

来る6月12日には、仙台市民防災の日ということで、直下型地震を想定した身体保護訓練等を実施することとしている。引き続き関係機関の皆様方については、ご支援、ご協力をお願いしたい。

【議長】


以上で議事の一切を終了する。

7. 閉会

以上、事実に相違ないと認める。

平成29年6月26日

仙台市水防協議会委員

佐藤 正昭 

平成29年6月26日

仙台市水防協議会委員

八木 彌生 